

季節性インフルエンザ予防接種のご案内

予約制で行いますが、数量に限りがありますので希望される方は、早めに申し込みください。今回のご案内は新型インフルエンザに対応したものではありません。

小児（中学生以下）

【接種期間】10月12日（月）～12月22日（火）
月・火・水曜日のみ（休院日を除く）

【接種時間】午後0時30分～1時30分

【1日の接種人数】15人

【接種費用】1・2回目共 2,500円（消費税込み）

【予約受付】10月1日（木）～12月11日（金）
土・日曜日と休院日を除く午前9時～午後5時
電話予約は午後1時～4時

小児以外

【接種期間】10月15日（木）～翌年1月29日（金）
土・日曜日と休院日を除く。

【接種時間】午後3時～4時30分

【1日の接種人数】20人

【接種費用】3,500円（消費税込み）

【予約受付】10月1日（木）～12月25日（金）
土・日曜日と休院日を除く午前9時～午後5時
電話予約はできません。



小児科外来からのお知らせ

10月より担当医が変更になります。

月	火	水	木	金	土
志田	三浦	赤澤	吉澤	松井	交代制

が変更となった箇所です。

常勤医師が不在のため、時間外の対応はできませんので、ご了承ください。

産婦人科外来からのお知らせ

10月より火、水、金曜日からのみの診察となります。

月	火	水	木	金	土
-	南淵	南淵	-	南淵	-

これに伴い、婦人科健診（子宮がん健診）についても火・水・金曜日となります。

10月の土曜日の開院日のご案内

3日、17日、31日を平常診察（耳鼻いんこ、う科、皮膚科、産婦人科は休診）します。また、3日と31日の泌尿器科は休診となります。

糖尿病教室のご案内

参加費無料
10月は8日・15日・22日に行います。
【時間】午後2時～3時【場所】東館2階232号室

関節リウマチ・・・早期診断・早期治療が大切です

関節リウマチとは・・・

関節リウマチは、関節に炎症が起こって痛みや腫れが生じ、しだいに関節や骨が壊れて変形していく病気です。30～50歳代での発症が多く、特に女性に多くみられます。日本には、60万人以上の患者さんがいると推定されています。

関節リウマチは診断が難しく、以前は初診から診断までに1年以上かかることもありましたが。最近では血液検査やMRI検査の進歩により、発症早期に診断することも可能になってきています。

関節リウマチの初期症状は・・・

朝起きたときに関節がこわばる

朝起きてから15分以上関節のこわばりが続いて、動かしくくなります（特に手指）。この朝の関節のこわばりが1時間以上続く場合は、注意が必要です。

微熱やだるさがある

「のどの痛み」や「せき」などのかぜの症状はないのに、37 くらいの微熱やだるさが続きます。

関節に腫れや痛みがある

複数の関節に腫れや痛みが現れます。左右対称に起きることが多く、手や足の小さな関節から起こり始め、肘や肩、膝などの大きな関節に広がっていきます。

関節リウマチの診断は・・・

関節リウマチのサインに気づいたら、リウマチ科など、リウマチ専門医のいる医療機関を受診してください。関節リウマチの検査にはエックス線検査・血液検査・MRI検査などがあり、近年、早期リウマチの診断も可能になってきています。

関節リウマチの治療は・・・

これまで「不治の病」ともいわれてきた関節リウマチですが、近年、抗リウマチ薬やサイトカイン阻害薬（生物学的製剤といわれる新しいタイプの抗リウマチ薬）の登場により症状のない状態を目指す病気になってきています。また、関節リウマチは発症早期に治療を始める方が、抗リウマチ薬の効きも良いといわれています。

以上、関節リウマチは早期診断・早期治療が非常に大事な病気です。思い当たるような症状のある方はお気軽に診察にお越しください。



仲川喜之整形外科部長（日本整形外科学会専門医・日本リウマチ学会専門医・日本体育協会公認スポーツドクター）の診察は毎週木曜日（予約外）の診察です。